

活発な地域づくり部会活動報告書

～おらほの武石づくり～



第5期武石地域協議会活発な地域づくり部会

目 次

- P1 活発な地域づくり部会活動報告
- P2 部会員名簿
- P3 平成 26 年度研究まとめ
- P4 武石についてのアンケート見本
- P5 武石についてのアンケート結果集計 (Q2～Q4)
 - P5 (Q2・Q4)、P7 (Q3)
- P9 武石についてのアンケート回答内容まとめ
 - P9 (Q2・Q4)、P17 (Q3)、P23 (Q5)、P26 (Q6)
- P28 座談会「武石について語る会」概要

活発な地域づくり部会活動報告

1 活発な地域づくり部会活動経過

第5期武石地域協議会は、平成26年4月1日に組織され、平成26年度は活発な地域づくりのためには、①地域の住民が元気になること②地域の魅力を再認識することが必要であるとして検討を重ねました。【P3：平成26年度まとめ】

平成27年度には、地域に暮らす方々には当たり前と感じている事柄でも、武石地域に移り住んでこられた方々は、違う視点で捉えているのではないかと考え、アンケート調査の実施、並びに座談会を開催して、武石地域に来られた方から武石の魅力などについて御意見を伺うこととした。

2 アンケート調査実施概要

調査は、「武石地域の魅力」に加えて、「こうであってほしいと思うこと」などを回答いただきました。対象者の抽出は、地域協議会委員、及び事務局員に紹介していただき、幅広い世代の方々から多くの貴重なご意見をいただくことができました。

- (1) 実施期間 平成27年7月～8月
- (2) 調査内容 別紙調査票のとおり 【P4】
- (3) 調査対象者 武石地域に移り住んでこられた方 98人

| 区分 | 20代 | 30代 | 40代 | 50代 | 60代 | 70代 | (人) |
|----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 男性 | 2 | 8 | 5 | 7 | 6 | 10 | 38 |
| 女性 | 2 | 8 | 11 | 12 | 17 | 10 | 60 |
| 計 | 4 | 16 | 16 | 19 | 23 | 20 | 98 |

- (4) 調査結果 P5～ 【P5～8：Q2～Q4集計】
【P9～27：回答内容まとめ】

3 座談会開催概要

- (1) 名称 武石について語る会
- (2) 開催日時 平成27年11月11日（水）午後7時～9時
- (3) 開催会場 武石公民館ホール
- (4) 参集者 アンケート調査回答者の中から世代ごとに抽出（17人）
地域協議会委員（10人）
- (5) 内容 世代ごとに3グループに分かれ、地域協議会の委員を交えて、武石地域の魅力などについて意見交換を行なった。
【P28～32：座談会概要】
- (6) その他 座談会出席者相互の新たな交流も生まれるなど、今後の展開に可能性を感じた。

第5期武石地域協議会活発な地域づくり部会名簿（平成26・27年度）

| 役職 | 氏 名 | 備 考 |
|------|--------|------|
| 部会長 | 新井 敦子 | |
| 部会員 | 金子 隆博 | |
| 部会員 | 小林 裕美 | |
| 部会員 | 下村 利枝子 | |
| 部会員 | 中嶋 三津子 | |
| 部会員 | 橋詰 和夫 | 27年度 |
| 担当職員 | 牛山 孝道 | 26年度 |
| 担当職員 | 柳沢 正明 | 27年度 |
| 担当職員 | 清住 拓生 | 27年度 |
| 担当職員 | 青井 明夫 | |

平成 26 年度活発な地域づくり部会研究まとめ

1 活発な地域づくりのために

活発な地域づくりのためには、①地域の住民が元気になり、②地域の魅力を再認識する必要がある。そこで、①生きがい②武石の魅力について研究を進める。

2 生きがいについて

自分たちが得意なことを見つけ、得意なことをやる。はっきりとした目的をもってやりがいがあることを持つことで活力ができる。人から頼られると元氣ができる。余里地区が最も高齢化が進んでいるが、一方で最も元氣がある。それは、住民が共通の目的を持って、共通のやりがいを感じ、同じ方向を向いて一丸となって取り組んでいるからだと思われる。

3 武石の魅力について

(1)武石の自然など

おいしくて豊富な水、温泉、花桃、新鮮でおいしい野菜、野沢菜、山菜（タラの芽、こし脂など）、そば（水がおいしいから）、ずくっ娘味噌、奏龍味噌、武石川、武石公園、温泉。特に水はおいしいと評判であり、自慢できる。また、水量も豊富なこともあります、武石地域の水利費は無料である。一方、武石の人の多くは、こうした良さが当たり前になってしまっており、気付いていない人も多い。

(2)武石の人

資本主義の世の中でお金や物質的なことに執着しがちだが、本当の豊かさとは人ととのつながりにあるのではないか、そこに武石の魅力がある。これからも人間として大切なものがある地域ということを再認識して、掘り起こしていくべき。

外から来た人を受け入れられる体制（雰囲気がある）が整っている。信州せいしゅん村が行っている自然体験と農業体験によって、武石を訪れる子供たちが元気になるし、受け入れるお年寄りたちも生きがいを感じている。

子供たちからお年寄りまで、見知らぬ人でも挨拶ができることもいいことだ。

4 その他意見

- ・平成 26 年の上田わっしょいに武石小が参加し、賞を受けた。子どもたちのように、積極的に武石地域を外にアピールしていくことも必要である。
- ・子どもたちに武石の良さを伝承していかなければならない。山菜とりなども教える。

武石地域についてのアンケート

| | | | | | |
|-----|-----|-------------------------|-----|------------------------|------------------------|
| お名前 | 性別 | 年齢(○印) | 自治会 | 以前のお住まい(差支えのない範囲で結構です) | 武石でお住まいの期間(おおよそで結構です。) |
| | 男・女 | 20・30・40・50・ 60・70歳代 | | | 年 |

| お伺いする内容 | 記入欄 | 参考 |
|------------------------------------|----------------------------------|--|
| Q1 武石地域へ来られた「きっかけ」 | | <例> ・結婚でやつてきた。 ・水田で稻作を営むために武石へ転居したなど |
| Q2 武石地域の「いいな」と思うこと・物 | Q2とQ4は、内容が似た回答が多くつたので、集計上統合しました。 | |
| Q3 武石地域の「嫌だ」・「こうであつたらいいな」と思うこと | | |
| Q4 武石地域に住んでみて、他の地域の人伝えたいと思うこと・物 | | 他の地域の人たちに知つてほしい武石の良さについて記入してください。 |
| Q5 「武石」への想い | | 皆様の武石地域への思いをどんなことでもけつこうですので書いてください。 |
| Q6 その他(自由にお書きください) | | |

武石についてのアンケート集計結果（Q2・Q4）

Q2・Q4回答結果（Q2 武石地域の「いいな」と思うこと・物、Q4 武石地域に住んでみて、他の地域の人に伝えたいと思うこと・物は、同じ内容の回答が多かったので統合しました）

＜自然に関するここと（154件）＞

豊かな自然など（51件）、武石川（26）、おいしい水（36）、空気（14）、山（11）、緑（6）、星（2）、その他（8）

＜景観（17）＞

山紫水明で美しい景色（6）、美しい里山（5）、移り変わる四季の風景（5）、その他（1）

＜気候（15）＞

過ごしやすい夏の気候（9）、その他（6）

＜人（33）＞

優しくて温かい人柄など（33）

＜人と人とのつながり（16）＞

近所づきあい（7）、人とのつながりを大切にしているなど（9）

＜地域の協力（5）＞

「地域のために活動している人」がたくさんいるなど（5）

＜高齢者が元気（3）＞

高齢者が元気でパワーをもらえるなど（3）、

＜子どもたち（3）＞

子どもたちが初対面の人に挨拶ができるなど（3）

＜暮らしやすさ（32）＞

災害が少ない地域（10）、精神的に豊か（3）、事件がなく安心して暮らせる（2）、その他（17）

＜雰囲気（14）＞

静かで穏やかなところ（13）、その他（1）

<子育て (16) >

子育てするのにとてもいい環境である (11)、その他 (5)

<福祉 (4) >

福祉が充実している (4)

<食、野菜 (12) >

おいしい野菜 (6)、味噌 (2)、その他 (4)

<スポーツ、サークル活動 (8) >

スポーツが盛ん (4)、趣味等のサークルが多く充実している (4)

<伝統、行事 (18) >

子檀嶺神社式年御柱大祭 (5)、武石夏祭り (4)、伝統行事を大切にしている (4)、余里の花桃 (2)、その他 (3)

<観光 (11) >

温泉 (3)、番所が原スキー場 (3)、ビーナスライン (3)、その他 (2)

<施設、公園など (7) >

河川公園でのバーベキュー (4)、ともしび博物館 (1)、その他 (2)

<移住して思うこと (6) >

受け入れてくれる環境がある (2)、都会からの移住には理想の地である (2)、その他 (2)

<その他の魅力 (1) >

アイデアを付加すると素晴らしい変化を遂げそうな宝がたくさんある。

武石についてのアンケート集計結果（Q3）

Q3 回答結果（武石地域の「嫌だ、こうであつたらいい」と思うこと）

＜買い物について（30件）＞

以前あった「ピコ」のような大きめのスーパーがあつたらいい（15件）、買い物に不便（5件）、その他（10）

＜交通の便について（20）＞

公共交通が少なく、交通の便が悪い（6）、バスの本数が少ない（4）、車がないと生活に困る（7）、高校までの通学が不便（3）

＜少子高齢化について（12）＞

少子高齢化となっている状況（9）、その他（3）

＜若者の定住と雇用の場（9）＞

若者が働く場がもっと多くあればいいなど（6）、若者にもっと住んでほしいなど（3）

＜若者の意見とそれを聞く機会（5）＞

若者の意見を聞ける場があればいい（3）、その他（2）

＜空き家について（6）＞

空き家が増えている（6）

＜子どもの遊び場（5）＞

公園など子どもの遊び場が少ない（5）

＜景観について（7）＞

住宅の周り、田畠の周りを片付けながらの生活を、住民皆が出来ると良い（1）、その他（6）

＜地域での役割について（7）＞

住民が少ないので、毎年いろいろな役があり忙しい（4）、その他（3）

＜気候について（3）＞

雪が多いなど（2）、その他（1）

＜嫌だと思うことはない（8）＞

嫌だと思うことはない（5件）、こうであつたら・・・は、自身の活動なくしては言わない。
自分で少しでも良くしようと思う等（3）

＜行政等への要望（46）＞

＜その他（18）＞

武石地域についてのアンケート内容まとめ(Q2・Q4)

「Q2(武石地域の「いいな」と思うこと・物)・Q4(武石地域に住んでみて、他の地域の人に伝えたいと思うこと・物)回答結果」(Q2とQ4は、同じ内容の回答が多かったので統合しました)

<自然に関する事(154件)>

- ・自然(13件)
- ・自然豊か(28件)
- ・自然が美しい(2件)
- ・四方山に囲まれ、自然の中で生活できる。
- ・大自然 私は花、虫が好きで、家から一歩外に出れば、いろんな事を注意して見れば、毎日が楽しい。そこが「いいな」と思う事です。
- ・豊かな自然からのたくさんのめぐみ。その中で培われてきた文化(地域の産業、農業や生活の中にある)と、その担い手(人)がたくさんいる。
- ・自然美。武石を訪れる前は、辺鄙な場所かなと思っていたが、比較的インフラも整備されており、驚いた。
- ・自然に囲まれ水と空気がおいしい。
- ・山間地域にて不便も感じる。が、自然の多い良い地である。
- ・武石は本当に自然、大地、土地の持っている豊かな力がすばらしいと感じています。そこで築かれてきた文化、知恵がたくさんある。
- ・自分の住んでいる所をよく理解していない人が多い。どこに魅力があるか外からよく見る事が必要だ。武石のように自然を誇れるそのままの風景が感動を呼ぶということを心掛けていれば人は集まってくれると思う。
- ・川(6件)
- ・川がきれい(8件)
- ・川遊び(6件)
- ・水が豊かに思う(冷たい川の水)
- ・美ヶ原の伏流水が水道の水源になっているため、水が豊富である。
- ・武石川の水質が良い。
- ・川は水が冷たくて、きれい。釣りも楽しめる。
- ・川魚が生息している。特に「かじか」は珍しい。
- ・川の風景はいろいろな場所で美しいと思う(紅葉橋、依田窪南部中近くの橋からなど)。
- ・水(6件)
- ・水がおいしい(17件)
- ・水道水の冷たさ
- ・水が水道の水なのに冷たくておいしい。
- ・水がきれい(7件)
- ・水が豊富(4件)
- ・空気(8件)
- ・空気がきれい(2件)
- ・空気がきれい。他市町村の方々より生き生きとしている、といつも言われる。
- ・空気が澄んでいる。
- ・空気のおいしさ
- ・空気が乾燥している。

| |
|-----------------------------|
| ・山(2件) |
| ・山が美しい。 |
| ・山。上信越国立公園の山々 |
| ・山深く、風光明媚であること |
| ・山で遊べること |
| ・美ヶ原(2件) |
| ・美ヶ原の裾野にあり、自然あふれる豊かな山間の町(村) |
| ・西南に美ヶ原高原、東に浅間山 |
| ・太陽が浅間山方面から昇り、美ヶ原の山に沈む。 |
| ・緑(2件) |
| ・緑豊か(3件) |
| ・圧倒的に緑が多くて癒される。 |
| ・星がきれい(2件) |
| ・生き物と触れ合える。 |
| 動植物が、多い。 |
| ・夏のカブトムシ |
| ・オオムラサキ |
| ・武石公園のツツジ |
| ・カブトムシやクワガタを採集できたりできる。 |
| ・福寿草、あじさい、花桃など見所がある。 |
| ・武石(ぶせき) |

<景観(17件)>

| |
|--|
| ・景色(2件) |
| ・美しい景色が沢山ある。 |
| ・山紫水明であること |
| ・以前、海の近くに住んでいたので、山の景色がとても良い。紅葉も良いが、それより春の新緑がとても良い。いろんな緑色の葉が山を埋め尽くしているところは、絵心がなくても描いてみたくなるほど。 |
| ・武石から美ヶ原の道の景色もとてもいい。車も少なくゆっくりドライブできる。 |
| ・美しい里山 |
| ・里山に水田や畠があり、まさに絵に描いたような里山の暮らしがあること。 |
| ・春の里山がとてもきれい。 |
| ・田園風景 |
| ・田舎らしい風景がある。 |
| ・四季の風景が美しい中で生活できることは、最高の喜びです。 |
| ・四季の移り変わりを五感で感じることが出来ます。 |
| ・四季の変化に富んでいて美しい。 |
| ・四季折々の楽しみがある(竹の子、わらび、きのこ)。 |

- ・時間や天気(そしておそらく季節)によって移ろう武石の表情をぜひ味わいに来てほしい。もちろん、これから自分も堪能したいと思っています。
- ‘武石’という名前だけで、「山の中」と想像する人、多い。とにかく来てもらい、見て感じてもらうこと、大事かと。

<気候(15)>

- ・夏の気候
- ・夏が涼しい。
- ・夏が涼しくてエアコンが無くても過ごせます。
- ・夏はエアコン要らず。
- ・夏も涼しく、過ごしやすい(2件)
- ・真夏でも夜はすごしやすい。
- ・湿度が低く、依然住んでいた首都圏に比べ、夏場は過ごしやすい。
- ・夏はせみが鳴いたりひぐらしが鳴いたり本当に自然が気持ちよい。

- ・気候(2件)
- ・気候が温暖である。
- ・何ともいえない心地良い風
- ・標高差があり、長く花が楽しめる(雪の降り方の違いで交通の便に差が出ることもあるが…)
- ・乾燥した空気、美味しい水、今のところですが、地震、雷、水害台風等の天災の無い地であること)を声高に伝えることに加えて、日中暑くなるも、木陰に入ると涼しく、日が沈むと尚、過ごし易くなる。

<人(33)>

- ・人(3件)
- ・人々の温かい心情
- ・人があったかい。
- ・地域の人柄がよい…個人のプライバシーに踏み込みず、又気づかってもらえる。
- ・人情溢れる里
- ・人情味に溢れている。
- ・武石の人々の人柄が温厚である。
- ・人柄が優しい方が多い
- ・住んでいる人々が優しい。
- ・人が穏やかで優しい。
- ・武石の人々は元気で優しい方が多い。
- ・人々の気質(明るく働き者でやさしい人ばかりである。)
- ・住民と生活し皆親切でした。
- ・住民に思いやりがあり、笑顔が素敵。
- ・武石の皆様、親切で話しやすい方がほとんどです。保守的でおつしやる方もいましたが、昔よりかなり変わってきました。今、料理教室に通っています。
- ・他の地域から武石へ住む方に「武石の住民はやさしく、面倒見が良く、すぐに武石になじめます。」と伝えたいと思います。私もそこに救われました。
- ・上本入の地域の方々、皆さんに親切にしていただいる。
- ・気さくで活気ある人々
- ・素朴な人柄
- ・町に人と違い人なつっこい人が多い。

| |
|---|
| ・勤勉なところ |
| ・とても働き者である。 |
| ・地味な生活態度と堅実な生活設計 |
| ・武石の人々との交流も深まり、畠も耕作するようになって生活の基盤を武石へ移した。それほどいいところだ(2件) |
| ・地域の人たちが、移住者を自然に受け入れてくれる風土が有ること。人との交流が何より嬉しい。 |
| ・文化サークルに参加させてもらっているが、よそ者扱いされる事もなく、みなさん旧知の仲のように親しくしていただいて、楽しく過ごす事ができる。 |
| ・地域外の人を受け入れてくれるところ |
| ・村民が「おもてなしの心」を持っている(特に、ほっとステイ、ホームステイの受入れの方は素晴らしい)。 |
| ・男性が先進的で女性差別(役職など)がない。 |
| ・武石地域は山の中(奥)の意識かと思われるが、人々の考え方は先進的、前向きの人が多く、田舎ではない。 |
| ・地元を愛する気持ちが強い |

<人と人とのつながり(16)>

| |
|--|
| ・近所づきあい(2件) |
| ・人のふれあいが多い(近所づきあいがあたたかい) |
| ・近所の人たちとのつながり |
| ・近所の人が野菜を置いてしてくれる。 |
| ・ご近所さんも温かい人が多く、住みやすい。 |
| ・近所の皆様がとても好意的で、良くしてくださる。野菜や果物をたくさん頂く。 |
| |
| ・人とのつながりを大切にしている。 |
| ・地域でのつながりが我々の子供の時と比較して少なくなっていると思うが、他の地域と比較すると多い。 |
| ・まとまりがある |
| ・団結力がある。 |
| ・仲間意識が強い(時として重荷になる) |
| ・自治会員の顔が全員分かっているので安心である。 |
| ・地域内の人同志の協力関係はいいなと思います。特に余里は「花桃」と「自治会」の二本立ての活力源があって、その微妙な関係性が興味深いです。今年の御柱祭も気になります。 |
| ・他人への気遣いを感じる。他人に対して関心が強いが、関わりが少し薄い。 |
| ・田畠が気軽に出来る(借りられる) |

<地域の協力(5)>

| |
|---|
| ・それぞれの立場にあって、出来ることを一生懸命している姿(団体でも個人でも) |
| ・「地域のために活動している人」がたくさんいる。おかげでお祭りなども盛り上がっている。 |
| ・協力的…地域の作業に協力的 |
| ・地域の人達のまとまりが有り、各種イベントが出来ている事。 |
| ・地区単位で道路脇の草刈、花植、清掃をしていること。 |

<高齢者が元気(3)>

| |
|---------------------------|
| ・高齢の方が元気 |
| ・お年寄りが皆元気である。 |
| ・高齢者の人達がお元気なこと、パワーをもらいます。 |

<子どもたち(3)>

- ・子どもが初対面の人にも挨拶が出来る。
- ・子どもがとても元気である。
- ・子どもたちの仲がいい。

<暮らしやすさ(32)>

- ・大きな災害が少ない(7件)
- ・何百年に一度というような災害は除き、比較的台風、地震、大雪等の災害が少なく、住みやすい地域だと思う。
- ・今のところですが、地震、雷、水害台風等の天災の無い地であること。
- ・大雪が降らず、屋根の上に上がらなくてすむ
- ・武石地域に限ってのことではないが、金銭換算できない豊かな世界がある。
- ・人間らしく、また一人の人として地に足をつけて生活できる所である。
- ・仕事に追われるような人生ではなく、仕事と趣味を両立できるライフスタイルを確立できる。
- ・車通りもあまりなく、安心。
- ・事件的なことが少ない(安心して住める)
- ・デマンド交通等、不便さを補う手段がある。
- ・スマイル号で子どもの送り迎えをしてもらえる。
- ・上田などの町場に近い割には、手つかずの自然が多く残っている。
- ・静かなところでなので、暮らしやすい。
- ・松本、長野、佐久等へ行くにもさほど不便でない。
- ・自分が高校生の頃、武石=どこ?のイメージで山奥の村と思っていたけれど、住んでみると何の不便も無く、実は住みやすい所。
- ・学校、医療機関、自治センターの距離が身近にあり、生活環境が良い。
- ・保育園、小中学校が近い。
- ・保育園、学童で待機しなくて済むので、仕事の復帰がスムーズ。
- ・土地が平らで田畠の耕作がらくで楽しい。
- ・住むところが武石の入り口なので、丸子に近いので買い物にも行きやすい。
- ・自分の畠が無くても近所の人が貸してくれる。
- ・妻の実家、職場も武石なので利便性は良いと思う。
- ・隣家とある程度離れており、薪ストーブを使用するのにいい。
- ・日当たりがいい。
- ・ドアtoドアでどこでも行けて便利(駐車場が無料)
- ・施設が近いところ

<雰囲気(14)>

- ・静かで良い(5件)
- ・自然の静けさを感じる事ができる。
- ・緑が多く穏やか
- ・時間の流れがゆっくり穏やか
- ・情緒豊かな都会にはない趣がある…お寺の鐘が聞こえる。
- ・昔ながらのたたずまいを大切にしている。これからもずっとそうであってほしい。

・どこか、遠くへ旅行に行つても帰つてくるとほつとできる。住んでいて良かったと思うところです。

・のんびりしているところ

・いなか。本当は小、中とも古い校舎がすきでした。ザンネン

・そのままの武石が良い。

<子育て(16)>

・子どもを育てるのにとてもいい環境(4件)

・自然・水・空気と恵みが沢山あり、子育てに最適。

・人が温かく、田舎で子どもを育てるには良いところ。

・地域の方々が保育園や小学校に関わってくれているところ。

・小さな子供を育てるには、とてもいい所だと思う。自然を身近に感じることで、いろんな経験ができると思うし、感性も豊かになるような気がします。こういう環境はお金を出しても手に入らない物だと思います。

・自然が多く、近くにグランドや川や田んぼ等、子どもの散歩や遊び場が近くにあって便利。

・自然が多く、花が咲くと、とてもキレイで、子どもと散歩するのが楽しいです。

・児童館が充実しており、子育てしやすい。

・学校は少人数制となってしまうがそれが良い。

・小学校は人数が少ないので、違う学年の子ども、仲良くあづぶことができる。

・他の学校では経験できないことができる。

・子供の遊ぶ場所(豊富な川、水、田)には困らない地域だと思う。

・小さな子供達がのびのびと遊べる。

<福祉(4)>

・福祉が充実している(2件)

・福祉活動が行き届いている。

・福祉関係がしっかりしていること

<食、野菜(12)>

・野菜がおいしい(3件)

・庭があるので野菜をつくれる所も良いです。

・ほとんどの種類の野菜が生産されている。米、ソバも。

・夏は色々な種類の野菜や果物が実る、花を栽培して育てやすい。

・「ずくつ娘みそ」…生活改善グループが冬の間に地域の為に作っている。地元のお米、大豆、水の味噌は本当に美味で友達の評判もいい。

・武石の味噌はとても味に深みがあって美味しい。今まで知らなかったので、もっとアピールしていいと思う。

・普通に漬物、梅干、あえものなどを自分で手作りしている人が多い。自分ももっと教えてもらいたいし、次の世代の人々に伝えていったほうが良いと思う。

・昔の人の知恵(保存食)等。あまり食べられていないが、忘れてほしくない食べ物(きのこの種類)

・武石のトマトは都会では極めて評判よい。産業化すると良い。

・家の近くで山菜がすぐ手に入る。・秋はきのこが採れる。

<スポーツ、サークル活動(8)>

- ・スポーツが盛ん(2件)
- ・スポーツも盛んにやっていて、私も2つ程のスポーツに参加していますが、まとまりがあり、良いと思います。
- ・他の地域に住んだときは、例えば習い事スポーツ等、忙しい時期には中断してしまうことが残念に思う。その点、武石は1年通して出来ることが良いですね。
- ・趣味のクラブがたくさんあり、気軽に参加できる。
- ・文化祭、運動や趣味のサークル活動があること。
- ・健康センター大変有意義で楽しいです。その他体操教室、そして多くの運動、趣味を活かしたサークル等大変良いです。
- ・高齢者クラブ(婦人)の集会が月1回あり、公民館でお茶をしながらおしゃべりを楽しんでいる。毎回大勢の方がみえる。他の地域は、無いとの事ですか…。

<伝統、行事(18)>

- ・子檀嶺神社式年御柱大祭(5件)
- ・夏祭り(3件)
- ・武石音頭(おどり)等ある事。市町村によってはないところもある。
- ・昔ながらのお祭りなど、伝統を大切にしているところ
- ・昔から行われてきた地域での伝統行事、どんど焼き、その他の祭事など地域独特の大切な事は伝えたい。
- ・地域での言い伝え、祭り事等、地域で頑張って盛り上げ、他地域にも伝えたいと思う。
- ・伝統行事など
- ・余里の花桃(2件)
- ・毎夏、太鼓、盆踊り、コンサート、自然観察会など指導していただく先生方に感謝している。
- ・分館対抗球技大会、夏祭りに大勢の人が集まること
- ・良いものはあるが、他の地域と大差がないので”伝えたい”と思うものがない。あえて挙げるならば、妙見寺の鳴竜。これから創っていけばいいと思っている。原石はたくさんある。

<観光(11)>

- ・温泉(2件)
- ・山の中一軒宿のある事(温泉)
- ・番所ヶ原スキー場(2件)
- ・スキー場が近いし、武石から近県へのドライブなど便利。
- ・武石川の渓流、ライダーにとっての観光道路、温泉等の観光資源がある。
- ・美ヶ原高原が近くにある事、全国的に知られている高原活用道路を見ながらゆっくり走ってもらう。
- ・ビーナスラインは素晴らしい場所であり、もっとPRすべき。
- ・「焼山登山道」…登山好きの方々、全国的に自慢できる登山道だと思う。県外の人達にもこの登山道ファンは多い。
- ・夏のレジャーには最高な場所だと思う。

<施設、公園など(7)>

- ・武石川のバーベキュー場
- ・河川敷でバーベキューが出来る。
- ・上田市内の人には、武石でバーベキューを楽しんだという人が多い。バーベキューをするのにいい場所だ。
- ・魚を釣ってその場で食べる事やキャンプが楽しめる。

- ・ともしび博物館

- ・武石公園、大宮諏訪神社の大きな石
- ・温泉、公園などが近くにあっていい。

<移住してみて思うこと(6)>

- ・受け入れてくださる環境がある。
- ・概ね新しい人を受け入れてくれる。

- ・インフラも整備されており、田舎暮らしのため都会から移住するには理想の地だと考える。ただし、移住を勧誘する上での課題はある。
- ・武石地域は山間部の奥地のように思われているようだが、車で約15分で丸子の中心部に行け、買い物等にも全く不自由がないので、ベッドタウンとしても住んでほしい。定年後の生活地としても魅力ある地域である。

- ・住む所が充実している(一戸建ての借家)
- ・住んでいて嫌なことはない。ぜひ、移住、もしくはリターンしてほしい。ただ、便利さを求める…

<その他の魅力>

- ・アイデアを付加すると素晴らしい変化を遂げそうな宝がたくさんある。

武石地域についてのアンケート内容まとめ(Q3)

「Q3(武石地域の「嫌だ」・「こうであつたらいいな」と思うこと)回答結果」

<買い物について(30件)>

・以前あった「ピコ」のような大きめのスーパーがあつたらいい(15件)

・買い物に不便(5件)

・やや買い物に不便(ジェイエーとCOOPでカバーできている)

・生鮮食品を買える場所が少ない(2件)

・コンビニがあつてもよい(2件)

・商店がもう少しあつたらなと思います。

・町に比べ、店が少ないこと

・お店があつたらいい(食料品)

・お店などの産業施設が近くになく不便。

・丸子に比べ、医療や商業施設がないため、そちらに行ってしまう。もう少し頑張ってもらいたい。

<交通の便について(20件)>

・交通の便が悪い(4件)

・山合いで交通の便もよくなないので、これから子育てや老後に不安を感じることもある。草刈や雪かきもやり続けられるか不安。上田市に合併しても僻地には変わらないので、出産祝金、移住手当、バス利用割引など僻地限定の制度があつたら嬉しい。

・公共の交通手段が少ないこと。

・路線バスの本数が少ないので小型のバスを使用して本数を増やす。

・休日、バスで上田まで行けない。

・電車があると良い。バスが少ない。

・車がないと生活できること。バスの回数が少ない。

・交通の便が市街地と比べて利便性が低い。車の運転ができなくなつてからの外出に不安がある。

・車は絶対に必要。老後はどうなるか。

・自動車を運転できなければ、不便なところ。

・車がないと買い物にも行けない。

・車がなければ生活できない。

・車での移動が主なので住民同士のふれあいが少ない。

・中山間地はどこもそうなのでしょうが、車以外の足がないのは、つらいところです。解決は難しいとしても、市内へ向かうバスのバス停に駐車場が付いていたら少しは利用するようになるかも…?

・高校通学に不便

・奨学金制度がほしい。通学費の補助を充実してほしい。

・小さい子がいるので、高校も通学に大変で、費用もかかってしまうと聞いているので、これから困る。

<少子高齢化について(12)>

・人口の減少と高齢化の増加

・人口減少と子ども達の少なさ

・高齢化とともに農地の荒れが気になる。

・自分が高齢になったとき、どの程度人口減になっているか心配。

・人口減、高齢化。地区の役をいつも兼ねなければならない。子どもの遊ぶ姿が見られない。空家、荒れた田畠がある。…他人事でなく、将来の我が家

・高齢化による活力・意欲の減少が見られるので、それを引き出す対策があつたらと思う。

・子どもが少ないでさみしい。

・10年後の武石の人口4300人⇒3500人?に減。即ち空家もあちこちに多い。先ず人口を増す。都会の人に見せる資料の作成。仕事の紹介。例えば、農作業、山林管理、野菜や果物(りんご、もも、ぶどう等)作業。

・農業何でも相談所 武石の人は聞かないとお節介はしない⇒good!! 聞くとことん何でも教えてくれる⇒very good!! 農機具、肥料、消毒、ビニールハウス、作物を植える時期、その他何でも地区毎に指導者を置く。指導員制度は?

武石地域の事かは分かりませんが、子どもの数が少なく、小さい時から、まわりの環境が一緒で、いい面もありますが、世間が狭く感じる事がある。

・地域の人々の中で子どもたちが支えあい、育ち合っていけるように、みんなで考えてもらいたい。

・武石の子ども達が更に生き生き成長して欲しい。その為の世代間の交流を増やす。

・シニア世代の地域に余っている時間を活用する。子供達が教科書以外の体験をする中で、地域の多くの人と関わっていける様にする。ボランティアの養成と組織づくりが不足。他地域の経験や活動の吸収を促し、ボランティア人口を増やす必要がある。シニア世代が更に生き甲斐を持てる様に、子ども達と接する機会を増やす。

<若者の定住と雇用の場(9)>

・働く場所が少ないので若者が遠くへ出てしまう。

・若い人が働ける場がたくさんあればいいと思う。

・働ける場所も少ないので、結果、丸子まで、何かと行かないといけないのが大変。

・以前と比べて、働けるところ(企業など)が減少している。生活基盤を充実させる必要がある。

・自然環境はすばらしいと思うので、もっと若い人(子育て世代etc)が集まるよう住宅が増えたり、雇用の場があれば…

・武石の人々は元気で明るい人が多いし、働き者がたくさんいると思いますので、会社や工場などがもっと多く企業が活発になれば生き生きと暮らすことができるのではないか!!と思う。

・若い人にもっと住んでほしいと思う。

・若者が少ない。他地域へ出て行ってしまう。

・若者の定住住宅が少ない(人口減少の一因)

<若者の意見とそれを聞く機会(5)>

- ・若い人の意見を聞くことがあってもいいと思う。
- ・武石は山の中だ、と皆が思っている。当然なのですが、これを活かしていく事を、考えていかないといけないと思う。老人も若者も交流できる場所を。
- ・若い世代の人々の意見を聞き、良い所を活かせる地域。
- ・どんな地域にしていきたいか、話し合いや情報共有の場があればベター。
- ・将来の武石をどうしていくのか”具体的な”情報が伝えられて来てほしい。

<空き家について(6)>

- ・空き家が多く怖いです。
- ・空き地で害虫などが出た時困る。どうしたらいいのか。
- ・廃屋が増えていること
- ・空家が多い事に対する住民の無関心、諦め、無力化に他地域の取り組みを参考に。
- ・地方創生とか地方への納税等の声高らかに言われて久しいが、本気、真剣に考え、行動する力が必要!!
(例)武石の空き家資料はあるか?図面、築年、土地、建坪、Rental or Saleの条件等。
- ・地域に活気が無い(私の回りでも数年後に空家が多くなると思う)

<子どもの遊び場(5)>

- ・子どもを遊ばせるところが少ない。
- ・子どもが産まれてから思ったのは、公園など遊具があり、体いっぱい動かして遊べるような整備された場所が少ないと。
- ・自然がたくさんなので、それを活かして公園(大人も子どももゆっくり楽しめるところ)があればと思う。
- ・子どもたちが遊べる広場(公園)など有ったらしいなと思う。
- ・ともしひ公園だけでなく、アスレチックを備えて、一日中遊べる広場があればうれしい。

<景観について(7)>

- ・住宅の周り、田畠の周りを片付けながらの生活を、住民皆が出来ると良い。
- ・一部の人かもしれないが、ゴミを平気で燃やしている(プラスチックも)。もう少しみんなでこの素晴らしい場所を守ろうと頑張りたいところだ。全域公園化構想については、モデル地区になれればいい。将来の子供たちに残せる事はじめあらゆる事を考え、まず出来ることから始めるべきだ。広い視野で進めてほしい。
- ・除草剤を多用し、景観も川も汚しているところがあるのが残念だ。
- ・武石川河川公園の利用マナーが悪い。車の乗り入れ、ゴミ放置、場所取りなど。武石地域外の利用者は有料でもいいのではないか。
- ・せっかくの川が汚れてしまうので、河原でのバーベキューのルールを作ってほしい。洗剤は使用しない、利用届を提出するなど。
- ・仕方ない事ではありますが、鹿の防護柵が至る所に設置されてしまい、景観が悪くなってしまった。川に入るのも山に入るのも気軽に出来なくなつた。
- ・欠点 春先、肥料のにおいが気になる事がある。

<地域での役割について(7)>

- ・住民が少ないので、毎年いろいろな役があり忙しい。
- ・人数が少ないため、自治会長、分館長など一通りやったが、2巡目が回ってきそうで大変である。
- ・地区の役員などたのみやすい家ばかり回ってくる。
- ・消防団活動をする人数が少ないので主人がいつまでも辞められない。
-
- ・年金とともにおでんま作業がつらく思う。
- ・地域活動(地区の掃除、用水清掃、その他)に出る人は、いつも出るが、何事にも欠席される人が多いので、困る。何事も協力していただけないと、ありがたい。
- ・葬儀に関して、自治会の中の組織で行うこと。5世帯位のところもある?自治会全体で対応したらよいと思う。

<気候について(3)>

- ・雪が多い。
- ・冬は厳しい時もある。大雪の時は道に出るまで大人4人で除雪して二日かかった。
- ・虫がいっぱいいるところ

<いやだと思うことはない(8)>

- ・嫌だと思うことはない(5件)
- ・こうであつたら…は、自身の活動なくしては言わない。自分で少しでも良くしようと思う。
- ・嫌だとあまり思ってこなかった。それぞれのちがいや、よいところ、よい力を認め合っていくといいなあ。
- ・26年間住んで、いやだと感じたことはない。今まで築き上げてきた人ととの絆を今後も継続できたらいいと思っている。

<行政等への要望(46)>

- ・行政に地元活性の意欲をもっと持って欲しい。
- ・子どもが一人で歩くときに街灯が無いところもあるので、もう少し整備してもらいたい。
- ・年寄りが歩くには道の整備等が行き届いていればと思う。
- ・歩道や自転車専用道路を作つてほしい。
- ・道が暗い(2件)
- ・側溝に蓋がないところがある(2件)
- ・道の駅ができるないか。
- ・バイパスの土手側の草が伸び放題でこれがいつも気になり嫌です。
- ・動物が多く作物がねらわれる。車を走らせているとぶつかりそうで怖い。
- ・お仙ヶ淵の整備
- ・癒しの場が少ない。例えば、グランド横のバーベキュー場所など拡張すると良い。
- ・小学校前のバーベキュー場所、トイレ、お金を100円でも取ってもいいんじゃないかな。水道使い放題だし、ラジオの音がすごい。
- ・自然、観光資源を活かしたイベントの企画
- ・遊休農地に花を植え(種蒔き)をして迷路を作ったり、写真コンテストをして地区外より大勢の人が集うようになったら良いなと思います。

- ・今年5月、丸子TVで武石の花桃をPRしていた。確か「世界一の花見」と宣伝していた。少し遅いと思って行ってみたが、花は全然なく、散った後である。しかし、その後もTVでPRしていた。花桃育成の関係者、役所の観光担当部署はこんなことを放置していたことに、唖然とした。武石の人間として恥ずかしく思った。
 - ・多くの人に訪れてもらえるように景観の維持を行政にもつとしていただきたい(特に巣栗周辺)。山野草やハーブ製品(例えば、ローズゼラニウムの手作りキャンドル等)を地域で取組み、武石のお土産品がいくつかあれば、いいと思う。
 - ・自然・住居環境等の「美的景観」を改善、維持して欲しい。
 - ・造られた物→田畠、林野、家、公園等々が、維持利用されていないのは「ゴミの山」と同じです。造った方、自治体は、既存で未利用は撤去の義務付を条例化必要です。
 - ・観光料等にしなくても良いが、通った人達がきれいな村だねと思うような道路、路肩帯の整備。
 - ・武石は特に別荘地に来る人達へのマナーの徹底。看板等を立てる、他色々。
 - ・資源回収、粗大ゴミの回収が不便(回数が少ない、回収場所が少ない。粗大ゴミは持込しかない)
 - ・流れを止めたいのですが良い思いが有りません。長和町の様な若者住宅はどうでしょうか(割安な)
 - ・保育園へ子どもを預ける時、保護者が働いていることを証明しなければいけませんが、人によっては預けてからでなければ、職探しが出来ない場合があります。何とかならないかなーと思います。
 - ・上田市政へ。子供を産み育てる環境(金額、仕事外)の改善 ・各地域の病児保育(武石地域にはない) それらを要望したい。
 - ・図書館(本)が充実していない。
 - ・分館行事、体育祭がなくなり残念。1年に一度位、全地区民が集まる行事の検討。
 - ・やってみたい。自分を必要としていそうだ…と、普段思っていても、そのやり方、チャンス、ノウハウ、情報などが伝わっていない事がほとんどの原因。教育関係が中心となって、幅広く、何回も拡げて欲しい。時間がかかるかも。
 - ・武石の歴史、地理等が一目で分かる展示物を整備して欲しい。(武石住民に知ってもらうことに加えて、外から来た人が、用意に知識を得られる場が欲しい)
- 権現のふれあい教室を住民が活用できる場として再び使えるようにするか、使わないならば公園緑地化または農産物直売所などに利用はどうか?
- ・ともしひ博物館は要らないと思う。他の利用方法を考えるべき。
 - ・クラブの合宿を呼び込める運動設備(体育館・グランド・コート・ランニングコース・屋外トイレ・水道・更衣室等)を充実して欲しい。
 - ・オフトーク放送がなくなって、とても不便です。火災や緊急な事など、ケータイやパソコンを使用できない人のことも考えていただきたいと思います。
 - ・武石には防災無線の設備がほしい。
 - ・武石地域自治センターのホームページを開いてみたが、移住を促進するような内容や空き家についての情報がないので、もっと積極的に移住者を呼び込む内容を充実してほしい。
 - ・佐久方面では空家バンクの制度があり、空き家をリフォームしたりして、移住体験、農地利用、その他、他県からの移住者を募集しているそうです。武石では働くところが少ないので、無理かと思いますが、人口が少なくなっています。考えてください。
 - ・光通信網の推進をお願いしたい。
 - ・転入してきた時に、家には高校へ通っている子供がいたが、通学の補助金の事など行政のサービスを知らせてもらはず、受取る事ができなかった。転入してこられる方には親切であってほしいと思う。
 - ・上田市に合併したが、地域の特色を大切にし、それに見合った政策が必要であると思う。それを実践していくことが可能になればさまざまな問題が解決していくような気がします。
 - ・松茸の時節後、白テープが処理されず、切れて風に流れている。入札制度だそうだが、テープ張る権利、処理する義務。処理しない人は次年度から入札に参加させない。入札時に一筆入れてもらうと良い。観光武石を歌いながら、管理されていない。言うばかりの雲渓荘の湯?では駄目!!
 - ・美ヶ原高原美術館とともに博物館へ都会の知人、友人を何度も案内した。市民を証する(写真付き)ものを提示すれば1/2~1/3の金額にする等の方策はないだろうか。案内しやすくなる。
 - ・雲渓荘が施設は小さくても良いのでもう少しさっぱりとしていて、きれいで美味しいものがあれば他県から友人や親せきなどが来た時等、もっと頻繁に利用できて便利なのに…と思う。
 - ・雲渓荘は長年役人がやったが良くならない。役人に全力を尽くす「必死さ」がない!!現地調査が無。Tax(税金)、修繕費など含め民間に少しづつ委託し、移管すべきでないか!!温泉を止めるのは何時でもできる。一度止めると次に復活は大変である。他県他地区の温泉事業だけでなく他の事業についてもExample(事例)を集め、民間がやりやすい様に考える必要がある。
 - ・雲渓荘の釣堀は何故廃屋のままであるのか。他にも廃屋あるが、観光武石にそぐわない。雲渓荘の上の作業番小屋(廃屋)の所に露店風呂があればgoodだ。維持者大変だが、温泉の価値が違ってくる。温泉のリピーターも多くなる。

- ・雲渓荘を改修し、都会の人、県内の諸団体の方々へ温泉宿泊してもらえる諸イベントを企画し、PRを個別に郵送する（武石よりもっと有名な温泉地があるので、ブログに載せただけでは駄目）。
- ①温泉の裏から尾根伝いに登山道を作る。温泉-白樺公園-物見石山-山本小屋（帰路はバスで迎えに行く）。
- ②小沢根川沿いに沢登り道を作る。
- 河童橋-温泉-四阿-元スキー場/ダキマワシ沢（帰路はバスで迎えに行く）。わがまち魅力アップ応援事業の活用や諸山岳会の協力を仰いだらどうか。
- ③魚釣りPoint地図作成（武石川、小沢根川、依田川等）。
- ④自然観察会（花、木）。花、樹木の地図作成（余里、小沢根、焼山、美ヶ原）。
- ⑤雪上スノートレッキング（武石地域は粉雪で膝程度の雪）美しの国頂上まで除雪されており、これを使わない手はない。
- ⑥そばや茸狩体験（要講師）。武石ソバ活性化組合等の協力を依頼。
- ⑦武石村が開いた茂沢林道のOPEN（安全確保と改修工事）。（イ）山岳マラソンあるいは（ロ）ロードレースを行う（温泉-美ヶ原-観光センター又は武石峠-温泉：温泉100m下の広場に集合）。
- ⑧武石の大切な資産のPR1：江戸時代の武石の武人（小沢根）の家の再建⑨PR2：日本三大鳴龍絵、信広寺のしだれ桜ほか
- ⑩武石の眺望の良い所の木を多少カットしてもっと眺望を良くする。
- ⑪番所ヶ原スキー場の老人（シニア）スキー教室は大ヒット企画だ。もっと地域振興事業団が本気になって他のクラスの募集を企画してはどうか。
- スキー場のリフトをどうしてもっと右の山裾に設置できなかったのか！（業者の言い成り、役人仕事）
- ⑫ジャスコがなくなり、住民は何かと不便しいが、武石に道の駅等を作る、武石の有職者や商工会議所の方々の知恵と力は無いか？必要性と開業力を問うては!!
- 企画等の事項①②⑤は都会や近県の登山グループ、山岳会、同好会、会社等の諸山の団体へ雲渓荘、温泉とセットPRするもの。
- ③④は沢釣キチの方や花好きな方々等、沢山のグループを調べ、彼方此方に今まで行っていない新しい所を探して会へPRしてください。
- ⑥は都会の方々等初めて体験していただく。雲渓荘がベースでPRする。
- ⑦はマラソン愛好会、自転車の愛好会が沢山ある。これらのグループを調べ温泉ベースのPRをする。イベントの企画力が必要。十何年前までは茂沢林道を使って武石村が発案して造った道路を修理しお金も使っていてなぜロックしてしまうのか。事故はあってはの役人の責任逃げばかり!!もっと前向きにあるものを利用しよう!!それなら始めから造らねば良いのに!!もっと前向きにあるものを利用しよう!!大いに!!
- ⑧武石にこんな素晴らしい人物が小沢根の山の中に住んでいたことを大いにPRすべきと⑨も同様。他県から来てビックリ宝の持ち腐れ。
- ⑩は武石の眺望の良い所だけでなく、来年のNHK大河ドラマの真田の城跡を見て回っていても木で眺望が台無し。大木をカットし、小木を植える。

<その他(18)>

- ・閉鎖的なところもあるが、村内（ムラウチ）を大切にしている。
- ・よそ者に対して、心を開きにくい。
- ・「ここ（武石）の生まれではないから」とよそ者扱いし、「武石は昔からこうやっていたから」と新しい事をしようとすると、足を引っ張るところ（今の時代にあったやり方）
- ・住民の人達とのコミュニケーションがとれない、友達いない、会話できない。行事参加したくも友人なしで淋しく、帰りたい帰りたいことしか考えなかった。他県から来られた人、皆同じだと思います。新しい受け入れ方を考えてもいいかと思います。接し方、つながり、和
- ・自治会の運営など古典的で形式的である。
- ・人付き合いで閉鎖的で、挨拶もしない人が多い。
- ・一つの方針に一丸となって相互に協力し合って進んでいければよい。
- ・全体的にまとまりが無い。
- ・他人を悪く言う人が多い気がする。
- ・道の近くの畑から作物だったり、道具を取られる。
- ・武石のことしか知らない人や、視野の狭い人が多いようにも思う。
- ・上田との合併をいつまでも苦にしそう。
- ・気楽に集まって楽しむ場所がない。
- ・猫の保護、えさやりをしている人が多い。（私も実はしている）経済的に？猫のえさを少々頂けないか（お金ではなくキャットフードで）
- ・人の事に少々干渉しそうなところあり。心配して下さるのは嬉しいのですが、必要以上に入り込まれると……！
- ・内向的
- ・自治会費や種々の寄付の金額が大きいこと。
- ・病院が少ないところ。

武石地域についてのアンケート内容まとめ(Q5)

「Q5(武石への想い)回答結果」

- ・消防団に入って色々な人と出会えた。今では「地元の人？」と言われるくらいなじんできている。これからも武石で生活したい。
- ・まだ武石に来て日が浅いけれど、思ったよりも住みやすいなと感じました。
- ・いつ帰ってきてても、変わらない環境の保全
- ・いつまでも清流(イワナやカジカのいる)を残して、自然豊かな武石であってほしい。
- ・このままかわらずにいて下さい。
- ・自然の豊かさは宝なので、汚したくない。行政に支えられて何とか生活できている。デマンド交通等の制度は絶やすことなく続けてほしい。
- ・美ヶ原や軽井沢にすぐ行ける土地もあるので、県外の人はとても良い所だと言っています。なのですが、武石の中だけでも、色々な事が出来る事をもっと外へ発信しても良いと思います。ブランド力に負けない武石ブランドを作っても良いのかなと思います。
- ・いつまでもこの落ち着いた生活が続けばいいと思う反面、もっとこの地域が活気付いてもらいたいとも思う。
- ・子育てる上で、散歩コース、遊ぶ場所、相手にこと欠かず、大変助かっている。特に児童館に行けば、小学生もよく子守りをしてくれるのをしばしば利用させてもらっている。
- ・高齢化社会に対応した交通機関を地域起こしと兼ね合わせながら行い、安心で安全な武石地域を創っていけたら良い。
- ・子育て世代が元気でいられる、魅力あるまちづくりができるといい。
- ・お金では買えない自然がここにはあると思う。
- ・山あり、川あり…という言葉どおりの地域。
- ・「故郷」という名にあてはまる土地だと思います。季節それぞれに風景や動植物、人の動きを身近に感じることができる素敵な土地です。この土地で子どもたちを育てることが出来て、良かったと思います。成人して子どもたちも、川遊びをいまだにやっています。
- ・現状を踏まえ(消滅可能性都市、高齢化、過疎など)、これからの未来(30年、50年、100年、300年、500年先)を具体的に考える必要性を感じる。子供たちが誇りを持って暮らし、素晴らしい武石地域を未来に残し、続けていってほしい、と思う。今はそのために自分でできることを始めている。
- ・「武石に住んでいても美ヶ原にはもう何年も行っていない」とよく聞く。もったいない。思い出の丘や武石峰などの道も知らない人が多く、もっと皆さん行けばいいと思う。
- ・20年前に比べると淋しくなったと感じる。それでも花火大会は毎年楽しみにしています。続けてください！
- ・東京と行き来が多かった時、武石に帰ってきた時の「山の空気」が感じられて気持ちよかったです。
- ・少子高齢化の流れは仕方ないが、今以上に子どもの数が、少なくならない施策を考えなければならないと思う。
- ・普段当たり前に見ている景色を都会の人達が写真をとっているのを見ると、自然がすばらしいところで、生活できていると実感できる。
- ・子どものふるさととして、今後も自然と共に存できる地域として大切にしたい。
- ・自分の子どもたちが結婚をして子どもを産んで育てる時に、自分たちが感じたり、経験した事が同じように変わらずにいてほしい。
- ・高齢化による農業問題(荒地)何とか
- ・この地区は若い人達が少なくて限界集落だと思います。この先、10年20年と経ったとき、息子や孫達がこのまま同じように暮らすことができるか心配。地区での役員や行事の負担も多くなっていくと思う。若い人が武石に来て欲しい。
- ・30年前武石に来た時、買い物や診療所等へ行くと知らない方(主に高齢の方)が知り合いのように話しかけてくれてうれしかった事を思い出します。通学の子ども達が気持ちよく挨拶してくれるのも驚きました。
- ・人口減少しているのが淋しく思うと同時に若い人の定住～出産での人口増加を切に願う。
- ・上田市になってから取り残されている感があるが、上田市の一部として「武石」ももっと全国的にも世界的にも知ってほしい。
- ・せっかく出来た縁なので、大切にしながら、地域が暮らしやすくなるように、役割を果たしていきたいです。
- ・多くなってきている高齢者が幸せに暮らせる地域を作っていてほしい。
- ・「ただいま」といつでも子ども達が言える。自然豊かなふるさとを守って生きたい。
- ・地域の発展に貢献して、武石から世界へ発信していきたい。
- ・武石の自然を大切にし、活かした「武石」をこれからのお子様たち(武石の子どもたちはもちろんだけど、上田市、長野県、から全国)へ届けていきたい。その場所になるといいな。

| |
|--|
| 自然が豊かで、一日の寒暖の差もあり、季節もメリハリがしっかりとしていて、とても生きている気がする。生活に野鳥や昆虫などが時には害虫や怖いものもいるけど、人間というより世界の一部の感じがして武石で生活することが、とても誇らしいです。便利な生活もいいけど便利でない生活を楽しむ余裕もあるのが逆に贅沢でいいかも。 |
| ・根っからのぐうたらであり、常勤での仕事をしているため(言い訳ですが)全く地域に貢献してなく、すみません。 |
| ・武石の自然を守り、子ども達が伸び伸び遊び、お年寄りが歩いてでも集まれる場所を数多く(今ある場所利用でも)作っていただきたい。私は鳥、せみ等の声をいつまでも聞いてみたいのです。 |
| ・伝統的な祭りを大切にし、継続してほしい。 |
| ・このままいいかな。 |
| ・武石の良さを今後も守り続けてほしい。小生も微力ながら、何らかの形で地域に貢献していきたい。 |
| ・緑豊かな山並みと澄んだ空気と水、いつまでもかわらないでほしい。 |
| ・10~20年後この地域がどんな姿になっているか心配。高齢化率が上がり、限界集落になっているのでは?自然な流れなのでしょうか? |
| ・武石に生まれ育ったが、都会へ出、再び戻った。気持ちの中に「ふるさと」を思う気持ちが強いと思う(夫です)。 |
| ・人口増加(若い世代) |
| ・武石で生活していく基盤(働く場所、教育など)を充実させていく必要がある。 |
| ・高齢化が進みこれから的生活は武石ができるのか不安に思う。若い世代が家を建てて住むような場所にしてほしい。 |
| ・自然豊かで明媚、四季折々の自然のうつろいの中で生活ができる。 |
| ・精神的に豊かでいられる。 |
| ・農村景観の価値を認識し、それを維持していくことを誇りに思いたい。 |
| 武石地域を流れる清流や水路は武石の宝だと思うので、川遊びや川の活用がもっと広がればと願っている。自分が住んでいるところでも川に近づける場所があまりない。ホタルは今でも見られる。 |
| ・武石地域全体での行事が以前より少ない。多くの機会をつくり全体としての融合を企れたらと感ずる。 |
| ・若者が気兼ねなく発言し活動できるようになったらと思う。 |
| ・かつて、長野にいた頃、武石は医療と介護の先進的な取り組みをはじめとし、経済的にも豊かで、学校予算も惜しまないなど、他市町村に誇れるものが、いくつかあった。自然はもちろんあるが、武石にいるという誇りがもてるような地域でありたい。 |
| ・自然豊かな河川、田園風景、素朴な人柄等を「売り」に何かできないか。 |
| ・3人の子ども達が世帯を持って家から離れて暮らしているが、3人が3様武石で暮らした想いがあると感じています。武石は”第一のフルサト”と捉えてずっと続いて欲しいと思っています。息子の同級生が地域で頑張っている姿を見るとまた嬉しく感じています。 |
| ・伝統的な祭りを大切にし、継続してほしい。 |
| ・畠を少し借りて楽しんでいる。近所の皆さんから親切にいろいろ御教授いただき、助かっている。また、浅間や美ヶ原の景観も見事で飽くことなく、この時季(7-8月)、庭に飛来するアサギマダラ等に癒される。 |
| ・私は官民一体ということにとても興味をもってきました。このごろやっとチャンスがやってきました。それぞれの立場でできることを協力していく。そして築き上げていく。とてもすばらしい事で、武石が住みよい、魅力的な地域になっていく様子が楽しみです。若い人、移住して来た方々の中には、パワーやアイディアを持った人、武石がこうだったらいいなと思う人が見つかると思います。私たち年配者や協議委員会、職員には、その秘めたパワーを引き出す役目があると思います。 |
| ・災害が少ないとも良い所だが、今後に大変不安がある。 私達、武石のこと、連絡してもらえない。災害他地域で起ったこと、知られてももらはず。今、思っていることはオフトークが無くなり、昔の有線のように、それぞれの家に連絡してもらえる物がなにもない。サイレンが雨の音で聞こえなかったとの話を聞いたことがあります。災害で命なくさない。なくしたくない。第一にこれをなんとかして、早く一。 |
| ・私達が次世代へつなぐために何をどうしたら良いのか。 ・巣立つ2世達に必ずここへ戻って欲しい事をどう伝えたら良いか。 ・子どもの育て方にもあると思う。 ・10年後20年後武石地域を残すことを考える。 |
| ・武石は高原である事、水のおいしさ、これだけで西武に住んでいます。他県との人達とのつながりもあります。皆さんにお話していること、これです。水がおいしいので、野菜、果物の味が良く、空気がおいしいので健康である。これらが長命、人のやさしさであると思います。 |
| ・若い人達に武石に住んでいただいて、子どもも増えてこの武石がいつまでも栄えて今の武石らしさを失わないでほしいです。 テレビでも度々見ますが消えてしまう武石にならない様に、願っています。 |

- ・他の地域の事はよくわかりませんが、将来子供達が他の地域に住むようになる人がたくさんいるでしょう。武石出身の人がよい証しを立てられるようにしたい。
- ・特産品がない。何とか開発する努力が必要。
- ・緑豊かな山並みと澄んだ空気と水、いつまでもかわらないでほしい。
- ・この優れた気候風土を、もっと良くする方向は地域全体の公園化を、行政に頼らず、住民一人一人の力で作る。
この地域に入ったら「おや、何か他と違う地」を造る。
- ・農地を荒地にしないこと、絶対に武石に住まない人は、屋敷、農地は、地元の人に売ること。
- ・進む高齢化により、田畠をだんだん耕作できなくなってきた。公園化ということは100年後(長い目で見て)も、武石が住んでみて良い所と思われる事をできることから計画的に進めてほしい。農村風景がいつまでもあり続けていかれるような武石であってほしいと願っている。
- ・美しい花の郷のため、荒廃地に春はポピーやれんげ草等、夏には向日葵等、花の郷になればいいと思っている。
- ・上田市にも言えることですが、武石地域への人の誘致。
- ・休耕地の利用
- ・何本かある川の整備、各地域の全員で。
- ・各自の家の周り、田畠の周りの雑草の処理。
- ・空家、空納屋が多く見られます。ゴミ等が散らかっているのが気になる。JA、郵便局の方々、皆さん親切です。近所の方々が次から次へと亡くなられてとても淋しく思います。
- ・武石の人はおとなしいですね。(消極的)特に若い人、もっと武石を盛り上げてください。活発な方が少ないよう思う。
- ・武石を離れて40年余り、帰ってくる事にとても懐かしさを感じた。家が増え、今迄なかった所に集落が出来、学校も以前と違い、近代的なになっていることにビックリ。それと同時に空家が増え、子供がいないのにビックリしました。それと、道を歩いている人が、ほとんどいないこと。皆どこにいるのだろうかと思いました。
- ・若い人が生活できる武石にしてもっと企業誘致する。
- ・山々がきれいで、水がおいしい、食べ物も美味しいものがある。野菜、果物等々生産し販売できるようにする。今までに先輩の方々が築いた足跡を見直してみてはどうか!まだ出来ることがあるのではないかと思う。しかし、労をおしまず努力する気力が必要であると思う。
- ・武石に着てから2週間、まだまだわからない事だらけです。だからこそ武石についていろいろ学び、地域おこしに繋がる事を見つけていきたいと思っています。地域の皆さんに少しでも早く近づけるよう、がんばります。
- ・誰もが地域のため、住民のために励ましあったり協力し合える地域にしたい。
- ・若い人や子どももたくさん増えるといいと思う。
- ・私には特に無い。息子たちは武石生まれ武石育ちなので、息子世代の武石地域が繁栄していく欲しい。
- ・高齢になった時に、交通に不便なこの土地で生活していくか不安。
- ・働く場所が少ないので、若者達が遠くへ出てしまい、子どもの数も減ってしまった。
- ・郷土愛がほしい。
- ・家を建てたのでこれから先も武石に住み続けていくことになりますが、やはり産業施設が周りに少ないと感じます。
- ・過疎化も進んでいると思うと、これから先、武石はどんどん若い世代が少なくなってしまう活気がなくなってしまうような気がします。
- ・武石に来て5年、不便に感じることもあったが、住んでいるうちに子どもにとっては自然豊かである武石に来れて良かったかなと感じます。
- ・歴史も古く、大きな災害もない、住みよい地域。
- ・武石にしか出来ない事をもっとアピールして、若い世代の方に好きになってもらいたい。
- ・散歩していると、気さくに話かけてくれる人がいたり、家や畠で取れた野菜を分けてくれる人がいたり、温かい人が多いと感じた。
- ・長く住んでいこうと思っているので、より住みやすく、他地域からも来てもらえるところになったら良いと思います。
- ・武石グランドの近くのバーベキュー場は武石以外の人も利用が多く、あの場所を知っている人も多いです。

武石地域についてのアンケート内容まとめ(Q6)

「Q6その他(自由にお書きください)回答結果」

- ・どんどん若い人们は都会へ行ってしまうので、何とか武石の良さをアピールしてほしい。
- ・自然体験ができるような教室、案内などあつたら参加したいです。
- ・不安なく暮らしていくように住民の暮らしを支える制度等ができれば、武石で暮らしたいと思う人が増えると思う。
- ・他県や他市の人も、もっと受け入れて欲しいです。たくさんの自然があるのに、入ってはいけない所が多すぎて、どこからが人の土地なのかとか、はっきり分かるようにしてもらいたい、もっと子どもが自由にたくさん自然と関わるようにして欲しいです。自然ボランティアみたいな人がいてもいいのかも。
- ・微力ながら、魅力アップ応援事業を使った地域おこしに関わっている。気の合う仲間で目標を建て、案を出し合い、計画、実施、反省を繰り返していく。そうしたことが武石の事をより深く知ることに繋がっている。こうした制度の欠点を改善しながら、より良い制度にしていくことも大事かと思う。
- ・物質的には充分とはいえないですが、心豊かにすごせる所だと思います。
- ・武石には沢山の積極的に活動されている方々がいる。各々が何のために、どんな具体的なイメージをもって今、何を活動しているか知りたいと思っている。
- ・色々な方の武石の良い所について聞ける座談会はとても良いと思う。沢山の方に参加してもらえば良いと思う。
- ・保育園で読み聞かせ(絵本)をやっている。お仙ヶ淵のお仙の話や鳴竜の由来等を子どもたちに分かりやすく伝えるために、紙芝居等があれば利用したい。
- ・顔が見える範囲の自治体(武石地域)だからこそできることがある。
- ・今回、思いがけず与えていただいた機会で、今までの17年間をいろいろ振り返ることができました。
- ・東京で暮らしている次男も、武石に帰ってきてみたいと思っているが、仕事の事を考えると、不安や心配な事の方が多い、喜んでいいのか、正直複雑です。
- ・現在は仕事と、自分の生活に追われていて地域を振り返ってみる余裕もありませんでした。この地域協議会活動をきっかけに地域のことを学び見直すことができればと思います。
- ・農業体験などいろいろな活動をアイデアを出して、工夫してやっていることは素晴らしい。これからも継続してほしいし、大勢の人に周知して活動してほしい。
- ・アイディアが思いつくとすぐやってみて、失敗ばかりしていますが、数打ちや当たるの精神で、いきたいと思っています。今後ともお付き合いのほど、よろしくお願ひいたします。
- ・武石の自然を活かして、エネルギーの自給を行い、より豊かな暮らし出来る様地域が協力していかなければいいなと思います。
- ・武石のよいところを、人から子どもたちへ伝えて、育てあっていけるようにできたらいいな。そんな想いを持っている人は、たくさん武石にいるだけれど、それぞれが繋がって考え、力を出し合い、作っていけたらいいな、と思います。
- ・私は良い所に住んでいると思いますが、これから年をとっていくと、買い物に不便になってしまふかなあ等考えますね。
- ・若い人が来られる環境、リピーターを増やす工夫をしてほしい。
- ・ウェイトトレーニングの行える場所が欲しい。
- ・パソコンを使えないから入ってくる情報が少ない。
- ・イベント、催しが上田中央まで行かなければいけない。
- ・若い人達や、都会から来た人もっと積極的にいろいろな行事に参加して欲しい。
- ・地域の活性化には、次代を担う子どもたちが不可欠である。少子高齢化に歯止めをかけることが急務である。自分が移住したとき4400人だった人口が現在は3700人となった。四半世紀の間に約16%も人口が減少したことは看過できない。
- ・自分たちから出掛けるよう心掛け、武石の人たちと交流し、もっと仲良くしていきたい。
- ・同じような気持ちをもち、活動しているグループがつながることにより、もっと大きく動かすことができるかと。まとまるとなればいいなあ…。
- ・伝えたいことが自分でできない状況にあります(体調不良)。むづかしいアンケートでした。答えられたかな?
- ・合併して色々な面で変わってきた。たとえば温泉の入浴券の住民配布が廃止されたことは残念に思う。武石公民館や地区の公民館を利用できることはありがたい。老人施設、診療所があることはありがたい。
- ・行政がまた、誰かがやってくれるのを待つのではなく、一人一人がどんな地域に住んでいたいのか考え方行動すべきだ。
- ・いろいろな行事に参加協力をしません人が増えて欲しい。

- ・武石村から上田市への合併については、将来の事を考えれば少々の不都合は仕方がないことも覚悟の上で賛成したが、全くのところ良さが見えてこない事が、はがゆい。オフトークが無くなった事をはじめとし、不便さだけが気になる。地域協議会が中心となり武石住民の声を届けていただきたい。
- ・このままでは5年後10年後20年後この地域はどうなっているか？非常に心配。
- ・武石に住んで30年近くになるため。あまり他の地域との比較にならないです。
- ・武石診療所が有ることは、便利な上に、何かの時には往診にも来ていただけるという安心感もあり、とっても有難い施設だと思っている。
- ・ゲートが閉まつたままの茂沢林道はもったいなく、さみしい気持ちがする。
- ・合併してから武石がとりのこされたような気がする。
- ・活発な地域づくりに参考になるかどうか？上記のようなアンケートしか書けませんで、ごめんねさい。
- ・特に小中学生、田舎でしか体験できないことをやって欲しいです。取り留めの無い事を書いてしまいました。少しでも参考になればと……。
- ・自分たちから出掛けるよう心掛け、武石の人たちと交流し、もっと仲良くしていきたい。
- ・地域全体がすばらしい農村風景であるので、都会のような高層ビルなど似つかわしくないものは建設させないでほしい。スイスとまではいかなくても頑張って動いてほしい。一人一人が思いを持って進めて下さい。
- ・武石地域に定住する人が増えてほしい。
- ・米の村、野菜の村などという、名称を作るための努力。
- ・情より理念を優先する傾向。
- ・休耕地利用など。国、全体のことでしょうか。
- ・都会も良いのですが、晩年は自然あふれる癒しのある所で暮らせる事。そして友達との再会に感謝しております。
- ・空き家が多いのと、老人が多い。
- ・人は老いてしまえば様々な事が失われてしまうのだと思います。若い人の力こそ必要だと思います。高齢者になってきている自分に出来ることは、若い人に迷惑をかけないように努力することだと思います。
- ・活発なということをもう少し具体的に。
- ・今、武石にあるものを少しアレンジして武石の復活を。
- ・余里の花桃は有名!!very good。もっと余里の田に一面を花桃に。
- ・花桃しかり紫陽花、福寿草、柳蘭、レンゲツツジ、ニッコウキスゲ等、地区毎に特長のある花を植えてはどうか。小沢根川の桜を維持し、育ててほしい。
- ・アンケートとりました。まとめました。検討しました…が、お金が無くて…!!は不要にて御座候のこと。知恵と能力で武石を生まれ変えてください。どうぞ武石地域協議会活発な地域づくり部会の活動を期待しております。
- ・住民の中には都会的な考え方している。どんどん空家が増えて庭が草ボーボー。
- ・若僧なので、これから色々な事を経験し、学び、吸収し、それを武石で活かしたいと考えています。皆様にもご教授いただきたいのでよろしくお願いします。
- ・住民それがいろいろな人と関わっていくことが大切な時代。まずはあいさつ運動で、知らない人にもあいさつの声掛けを。
- ・唐沢の福寿草群生地の復活
- ・アンケートのみでは無く、聞き取り調査を希望します。
- ・若い人達も仕事が少ないのですが、シルバーも大勢いるので武石の中に仕事があればいいと思う。
- ・「武石に住んでいて良かった。周りの人に自慢できる」ことが今のところ、あまりないので若い世代でもそう思えるような取り組み、活動(具体的なことはあげません)が充実すると良いと思う。
- ・もっと周りの地域の人に目を向けてもらえるように、オリジナリティーのある、ゆるキャラがあると良いと思う。
- ・来年の大河ドラマを縁に武石を盛り上げて欲しい。
- ・まだまだ知らないことだらけなので、日々耳をそば立てて情報を収集しています。「武石は天領だった…？」とか、市内の人からは「朝もやがたまるようなところの野菜は美味しいっていうのよ(武石をさして)」といった話を聞いたりとか。地域の人は個性が際立っている感じです。

11月11日武石について語る会概要 (Aグループ20代・30代)

1 会 場 武石公民館 2階 第6会議室

2 参 加 者 アンケート回答いただいた中から20代・30代の男女6名、協議会委員3名

3 主な意見

(1) テーマ①武石地域の魅力

- ・川がきれいで、子供が遊べるなど自然に囲まれた中で成長できる。あらゆる世代の子が小さい子と遊んでくれる。子育てには良い環境。
- ・皆が知ってる人。人との繋がりが多く、親しい近所付き合いをしている。
- ・知らない人も気軽に声をかけてくれる。
- ・自然・環境が良い。景色も良い場所が多くある。美ヶ原など。
- ・東京に程よく近い。
- ・年を重ねると、武石のような自然の中で生活したくなる。

(2) テーマ②武石地域について、こうであつたらいいと思うこと

- ・冬になると暖房費がかさむ。ガソリン代もかかる。
- ・高齢の一人暮らしの方など、地区の清掃など出不足金など取られるので、足腰不自由でも参加しているが、免除するなど考えてあげられないか?また、日々のちょっとした事をお手伝いできる方がいればよいと思う。
- ・地域コミュニティーの拡充が必要ではないか?
消防団、スポーツクラブなど、団体の情報がほしい。存在を知れば入ってみたい。
- ・地域の行事など人口の減少により、今の子供世代に負担が掛かるのではないか不安に思う。
- ・仕事の出来る場所が少ない。他地域で仕事をするしかない。
- ・夫は昼間は留守。武石出身なのに武石の事を知らなき過ぎる。地域との接点が少ない。
- ・自然(山・川)がたくさんあるのに、活かさないともったいない。山など入ってよい場所なのか分からぬし、散策しようとしても藪になっていて入れない、里山など整備して自然と触れ合えるような環境があればよい。
- ・自然を活かした観光に力を入れては?→雇用を生み出す。(例)バーベキュー場を整備して有料にし、管理人を置く。美ヶ原高原を活かす。
- ・子供が高校生になると交通の手段などで大変。補助金があればいい。

・【将来生活する上で不安に思うこと】

私たちが年寄りになった時に若い力があるか不安に思う。

現在でも限られている交通手段が将来あるか不安。

雪かきなどどうすればよいか不安。

(3) テーマ③活発な地域づくりのための方策

- ・人の繋がりが大切。県外から来て友達がないなか、消防団に入って人の繋がりが増え人脈も広がった。
- ・農業などは若手が就労しており活発になってきている。
- ・もっといろいろ行動すべき。
- ・内側からの考え方でやっていることで人がくるのか?外側から来ている人にもっと提案してもらう。
- ・雲渓荘のチラシを見たことがあるが、ホームページには載っていなかった。もったいない。
もっとインターネットなど活用すると良いと思う。

- ・元気なお年寄りが多い。お年寄りが元氣でいられるような活躍の場所を増やしては？児童館のボランティアのような。
- ・子供～お年寄りまでの生活モデルを作っては？
- ・武石で何をやっているか知ることが出来ればよい。地域のイベントなどの情報。
- ・情報もオフトークなどの一方的な情報ではなく必要とする情報が得られる手段がほしい。地域のホームページなど。
- ・「活発な地域」とは、人それぞれいろいろな考え方がある。焦点を絞ることも必要である。

11月11日武石について語る会概要 (Bグループ40代・50代)

1 会 場 武石公民館 2階 第8会議室

2 参 加 者 アンケートに回答いただいた40・50代の男女5名、協議会委員3名

3 主な意見

(1) テーマ①武石地域の魅力

- ・余里の花桃は、桃源郷を思わせるほど素晴らしい。
- ・地元の方同士の関係が濃厚。
- ・紅葉も綺麗だが、5月の新緑が凄く綺麗である。
- ・水が美味しい。（銀座NAGANOのイベントでも好評だった。）
- ・素朴な人が多い。
- ・自然が豊かである。
- ・食、文化、自然、人、四季の風景など魅力の原石である。

(2) テーマ②武石地域について、こうであったらいいと思うこと

- ・魅力的な自然は、この先もずっとあって欲しい。
- ・交通の便が悪いため、（高齢者などが）自動車の運転ができなくなると買物難民になってしまう。運転ができる人が、何らかの形で関わっていければ良い。
- ・高齢者が、温泉や料理教室に出掛けて、生き生きしているのを見ると、この先、楽しみのある老後を過ごすためにもずっと残っていて欲しい。

(3) テーマ③活発な地域づくりの方策…

- ・オフトークが無くなり通信が途絶えてしまい不便さを感じる。火の見櫓をアンテナとして活用したコミュニティーFMやインターネットFMの検討。
- ・既存の武石にある魅力（食事、文化、自然、人）を新たに組み合わせて、都会の人が興味を持つようなことを考える。
- ・新たなものを生み出し発信することで、「武石」を知ってもらう。
- ・武石を好きになり、移住してもらえるようなことを考える。
- ・空き家をリフォームして、滞在できるように活用する。
- ・トレッキングコースを整備して、新たな武石をつくる。
- ・県外から学生を招き、武石の魅力などを調査してもらい、今後の方策に役立てる。
- ・里山を活用した事業を行なう。

11月11日武石について語る会概要 (Cグループ60代・70代)

1 会 場 武石公民館 1階 コミュニティホール

2 参 加 者 アンケートに回答いただいた60・70代の男女6名、協議会委員4名

3 主な意見

(1) テーマ①武石地域の魅力

- ・気候風土がとてもいい。
- ・きれいな水。水道水もおいしい、都会の人は持って帰る。福寿の水。練馬の宿舎の近くの水。
- ・きれいな空気。乾燥した空気。真夏の夜涼しい。
- ・良い風景。里山・水田・畑-----昔ながらのたたずまい
- ・以前に比べて水路がきれいになった。川に野菜などが流れてこなくなった。
- ・地震・雷・水害・台風など大規模な自然災害が少ない。人が住むのに適している。
- ・地域の人達のまとまり
- ・各種イベント。武石の夏祭りに長和の人達も来ている。ともしびの里駅伝は県外から多く参加している
- ・人情味がある。移住者を受け入れてくれる風土。「ほっとステイ」「ホームステイ」の受入。
- ・移住してすぐの頃90代の母を武石に残して、半年横浜にいなければいけなかったが、ケアしてくれる場所、人がいて安心だった。デイサービスが充実している。

(2) テーマ②武石地域について、こうであつたらいいと思うこと

- ・公共の交通手段が少ないとこと
- ・生活に必要なものを扱う店がない。歩いて買い物にいける所があればいい。買い物が出来なくなる近所のお年寄りをどうするのかと思う。
- ・自治会費や種々の寄付の金額が大きいこと
- ・人口の減少と高齢者の増加。若い人にもっと住んでほしい。子ども達が増えなくてはならない。高齢者が多いから外から呼ぶ事を考えたほうが良い。
- ・保育園入園には就労証明が必要だが、小さな子を持つと職探しが難しい。子育てしやすい環境づくりが大切。
- ・滑り台、ブランコなど小さい子どもを遊ばせる場所が少ない。
- ・ゴミを平気で燃やす人がいる(プラスチックも)
- ・観光客は楽しみで来ているのに観光案内看板がぼろぼろのまま。名所の案内板も古くなっている。お客様を受け入れる状態になっていない。
- ・温度計が壊れたまま。夏場に涼しい温度を明示できればPRになる。
- ・移住者はお金を持って移住してきているのに、お金を使うところが無い。観光客もお金を使うところがない。

(3) テーマ③活発な地域づくりのための方策

【人口増、雇用、移住など】

- ・活性化のためには若者を増やすことが必要。雇用の場の確保をすべき。
- ・雇用の場は武石になくても付近にあればベットタウンとして成立する。ベットタウンとしても居住できることを外へPRする。
- ・武石としてのIターン、Uターンの施策を進める。
- ・高齢者の移住先となる古民家の活用。家庭菜園が家の前で出来ることもよい。

- ・年をとっても安心して暮らせる福祉の武石をアピールすべき。
- ・出会いの場を提供するなどして結婚に結び付ける。
- ・番所ヶ原スキー場は武石地域の子ども達は無料に。

【自然環境、生活環境、公園化】

- ・武石全域がすでに公園になっている。公園化構想については、すごい財産である武石川を活かすなどあまり手をかけずにできると思う。
- ・武石にはとてもきれいな清流があるのに川に降りられない。川の周りの笹を刈るなど、ちょっとした手を入れるだけで公園になる。
- ・遊休農地に花を植えて迷路などにしてみては。
- ・武石全体に道しるべがない。武石全体がすでに公園があるので道しるべを作ればそのまま公園化になる。（長和の道しるべやせいしゅん村のマップを参考にしてはどうか）
- ・いらなくなつた物を片付ける。廃墟を撤去する。使われなくなつた公園の遊具なども撤去する。こうしたことにより、きれいな地域を維持できる。住んでいる人が自分の家の周りをきれいにする。軒下を片付ける。田んぼのあぜの草刈をすることなどにより、美しい景観が整えられる。
- ・行政に頼らない地域づくりが必要。住民一人ひとりがその気になることが必要で、やってみせて良くなることにより住民も自然に協力的になる。

【地域資源、産業の振興、人材の活用】

- ・道の駅を作つて武石で収穫した野菜を売る。丸子の「あさつゆ」に対して「よつゆ」というのもおもしろい。
- ・移住者、観光客のお金を使う場を作る。
- ・地域にはいろいろな技術を持っている人がいる。例えば、大工さんに木を切つてもらって公園の遊具を作つてもらうなど人材を活用する。
- ・武石地域の歴史などをまず地元の皆さん知つて誇りと愛着を感じ、そしてそれを活かす。
- ・山の木を利用して小規模なバイオ発電を行う。雇用にもつながる。太陽光発電と小水力発電とあわせて武石の電力を貢えるようになつたらいい。
- ・武石地域以外の人も使用できる霊園を整備したらどうか。お彼岸などは人で賑わう。
- ・観光で人を呼ぶか、何で生きていくか目的をはつきりさせることが大事。

武石讃歌

作詞・三石 勝五郎
作曲・井上 武士

一、信濃の空に 青雲たかく

美ヶ原 あさひに映えて
仰ぐわれらに望あり

四、郷を鎮めの子檀嶺います
やしろ こまみね

社につづく小沢根 余里や
栗の実みのる秋深し

二、千歳の岩を したたる水の

沖に流れて 飛魚おどる
真すみの淵ぞわが心

五、雪の華さく本入訪えば
ほんいりと
その 自然の園のめぐみを享けて

村の富増す炭たきぎ

三、鳥屋の松風 義仲惣ぶ

六、武石の川の行く末遠く

つつじあや織る 小路をゆけば
こうじ 武石の山におさひびく

明日を夢見て学べる友よ
愛の山河にわれら住む

武石讃歌 いわれ

昭和 24 年秋、佐久望月の三石勝五郎先生により作詞され、当時の武石中学校の井上武士校長がこれに曲をつけ誕生しました。

戦後間もない頃、当時の近藤忠義村長は“敗戦の痛手から皆が立ち上がり、希望に満ちた村づくりをすすめよう。そのためには村民の心のよりどころがなければならない”と考え、豊な自然と共に暮らす武石村民こぞって歌える歌をつくることにより、皆の心が一つになるようにとの願いから作詞を三石先生に依頼しました。

先生は、この願いを快く引き受けてください、武石を知るために幾度も足を運ばれました。そして、村の素晴らしい自然を詩情ゆたかに歌い上げた「武石讃歌」が生まれ、今も村民の間で誇り高く歌い継がれています。